

経験ストーリー案（晩秋編）

ローカル線の車窓を眺めて、
旅に思いを馳せる。



木々の葉が落ち、
冬の気配を感じさせる散策路。



さらに溪谷の奥深くへ。



地炉を囲んで雪国の知恵を聴く。
現代人が忘れてしまった
循環型の暮らしに出会う。



40代女性のひとり旅。
大人の落ち着きを感じさせるように
全体的にゆったりした表現トーンで。



（オフナレ）

冬の間は雪に埋もれるっけ、
雪で大根を冷やしときゃそ、
いつでも新鮮なんさ。

地元のお母さんに
保存食づくりを教わる。



翌朝は出発まで時間がたっぷりある。
なにもしない贅沢を味わう。

出発のとき、お母さんが見送ってくれる。
帰りの電車でどうぞ、とおにぎりをいただく。



(オフナレ)

桐で作ったこね鉢が
どこんちにもあってそ、
それであんぽをつくって。
冬のごつつおだて。

真白き世界に隠された知恵と出会う

集落に行き、
自然と共生した雪国の暮らしを感じる。



(オフナレ)
そろっと冬が来るのお。



帰りの車内でおにぎりをいただく。
爺婆ちゃんと過ごした時間の豊かさを思う。

